魅力ある高校生にインタビュー

明日へジャンプ

No.213

仲間と磨いたアイデア
目指すはIoT部門優勝

伊勢崎工業高等学校　2年　佐藤（さとう） なる美（み） さん

資格取得やコンテストなど、幅広い活動に取り組む佐藤さんは、未来のＩＴ人材を育てるプログラミング大会「ぐんまプログラミングアワード（ＧＰＡ）」のＩｏＴ部門に同級生２人と一緒に出場しました。

佐藤さんに、ＧＰＡへの出場を決めた理由を聞きました。

「日頃から勧められたことは積極的に挑戦しています。高校生活の３年間でできることは全てやりたいので、ＧＰＡへの出場を先生から打診された時もプログラミングは未経験でしたが、二つ返事で出場を決めました」

その後、佐藤さんたちは、大会参加者を対象としたプログラミングの基礎技術やアイデアの実現方法などを学ぶ講座に参加し、ＧＰＡに挑戦するアイデアを考案しました。

「『スマホを持っていない子どもが自転車で遊びに行くと、所在や安否が分からず心配』との話を聞き、自転車の転倒検知システムを思いつきました。そこから、子どもや高齢者などでスマホを持っていない人が自転車で転倒した際に、自動で家族に位置情報を知らせる仕組みを考案しました」

佐藤さんたちは、意見を出し合い形にした内容で見事ファイナリストに選出されました。最終審査に向けた研修では貴重な気づきがありました。

「『専門的な内容を誰にでも伝わるように、何のためになぜこの機材を使ったのかを明確に説明した方がいい』と助言をもらいました。３人の得意分野が違うため、各々の強みを生かした役割分担の大切さに気づくこともできました」

夏休み中も、仲間と集まり最終審査に向けた準備を続けた佐藤さん。最終審査への意気込みを話してくれました。

「緊張しますが、当日は楽しみたいです。やるからには１位を目指して頑張ります」

プロフィル

さとう・なるみ

料理部に所属し、部員との買い出しや調理が息抜きになっていると話す。今後も資格取得に励み、多くの資格を持つ工業高校生に贈られる「ジュニアマイスター」の称号獲得が目標。高校卒業後の進路は就職を考えている。

10月23日（金）にいせさきＦＭで放送します　●午前７時54分～　●午後１時25分～　●午後５時50分～